

TSUCHOSEYOKAITENRASENTAI

Publication number: JP51003917

Publication date: 1976-01-13

Inventor: TANI MASAKAZU; HARADA MASAYUKI

Applicant: KUBOTA LTD

Classification:

- **international:** A01B37/00; A01C11/02; A01B37/00; A01C11/02;
(IPC1-7): A01B37/00; A01C11/02

- **european:**

Application number: JP19740074585 19740629

Priority number(s): JP19740074585 19740629

[Report a data error here](#)

Abstract not available for JP51003917

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

① Int. Cl.²
F 16 L 19/08

②日本分類
65 A 31

③日本国特許庁
公開実用新案公報

厅内整理番号 7159-26

④実開昭51-3917

⑤公開 昭51(1976). 1.13

審査請求 未請求

⑥くい込み式管錐手

⑦実願 昭49-74850
⑧出願 昭49(1974)6月27日
⑨考案者 高市恒和
高槻市寿町8の1
⑩出願人 大洋金属工業株式会社
大阪市西淀川区姫島3の8の23
⑪代理人 弁理士 石山博 外1名

⑫実用新案登録請求の範囲

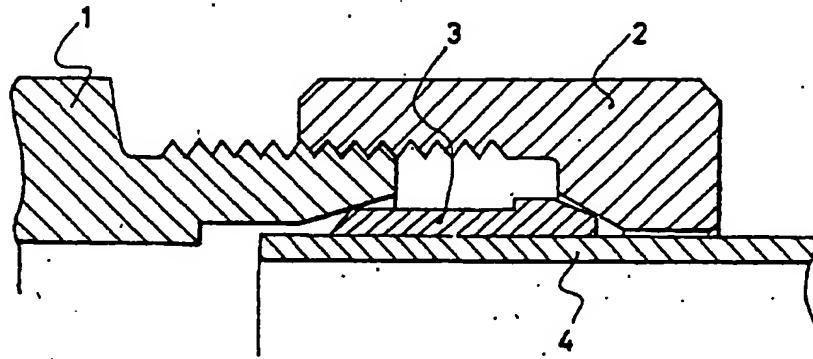
錐手本体と、該本体と螺合する締付ナットの内方にスリープを介在させて前記ナットの締付けによりスリープを被結合用管の外周にくい込ませて錐手本体と該管の結合を行うものにおいて、前記管を嵌合するスリープ3を以下太鼓胴状に形成すると共に、該スリープ3の一方端を錐手本体1の内方円錐面1aに係合させ、且つ、他端をナット2の内方円錐面2aの角度より鋭角に形成し、又、少なくとも該スリープ3の内周両端に刃(5及び8)を形成させると共に、錐手本体側の刃5を前記錐手本体内方円錐面1aに対してほど直角に形成し、且又、他方端の刃8の刃先径を前記刃5の刃先径より大径に形成し、もつて、錐手本体1に螺合されたナット2の締付に伴つて本体1とナット2の内方円錐面(1a及び2a)とスリープ3の両端で作用する軸方向の締付力による径方向の分力によつてスリープ3を径方向に収縮させて前記刃(5及び8)を管にくい込ませて錐手本体1と管の結合を行うように形成して成るくい込み式管錐手。

図面の簡単な説明

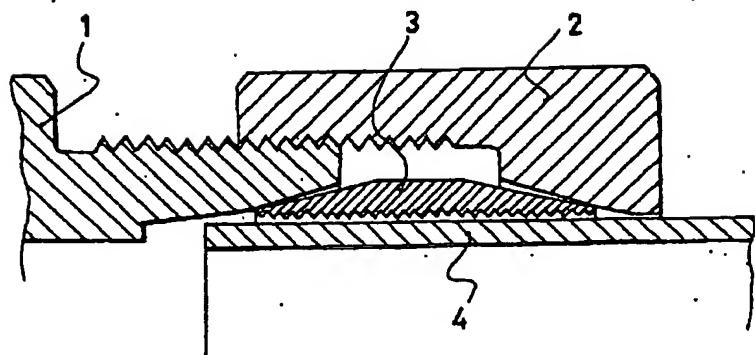
図中、第1図及び第2図は夫々従来のくい込み式管錐手を示す要部断面図、第3図は本案のくい込み式管錐手を示す要部断面図である。次に、本案の主要部の符号について説明する。

1……錐手本体、1a……錐手本体1に設けた内方円錐面、2……締付ナット、2a……締付ナット2に設けた内方円錐面、3……スリープ、5、8……スリープ3の両端に設けた刃。

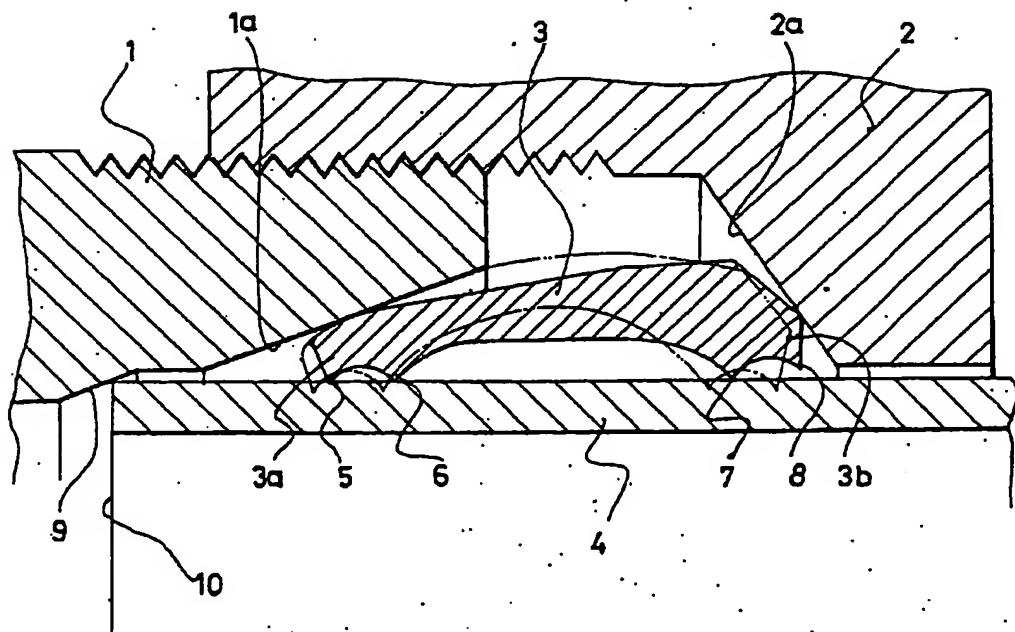
第1図



第2図



第3図



BEST AVAILABLE COPY